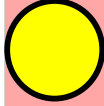


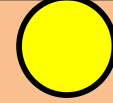
踏切に進入する前に左右確認を行った。警報機の音は聴こえなかった。

1

②



警報機

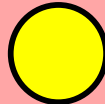


①

踏切前



①



警報機

遮断棒



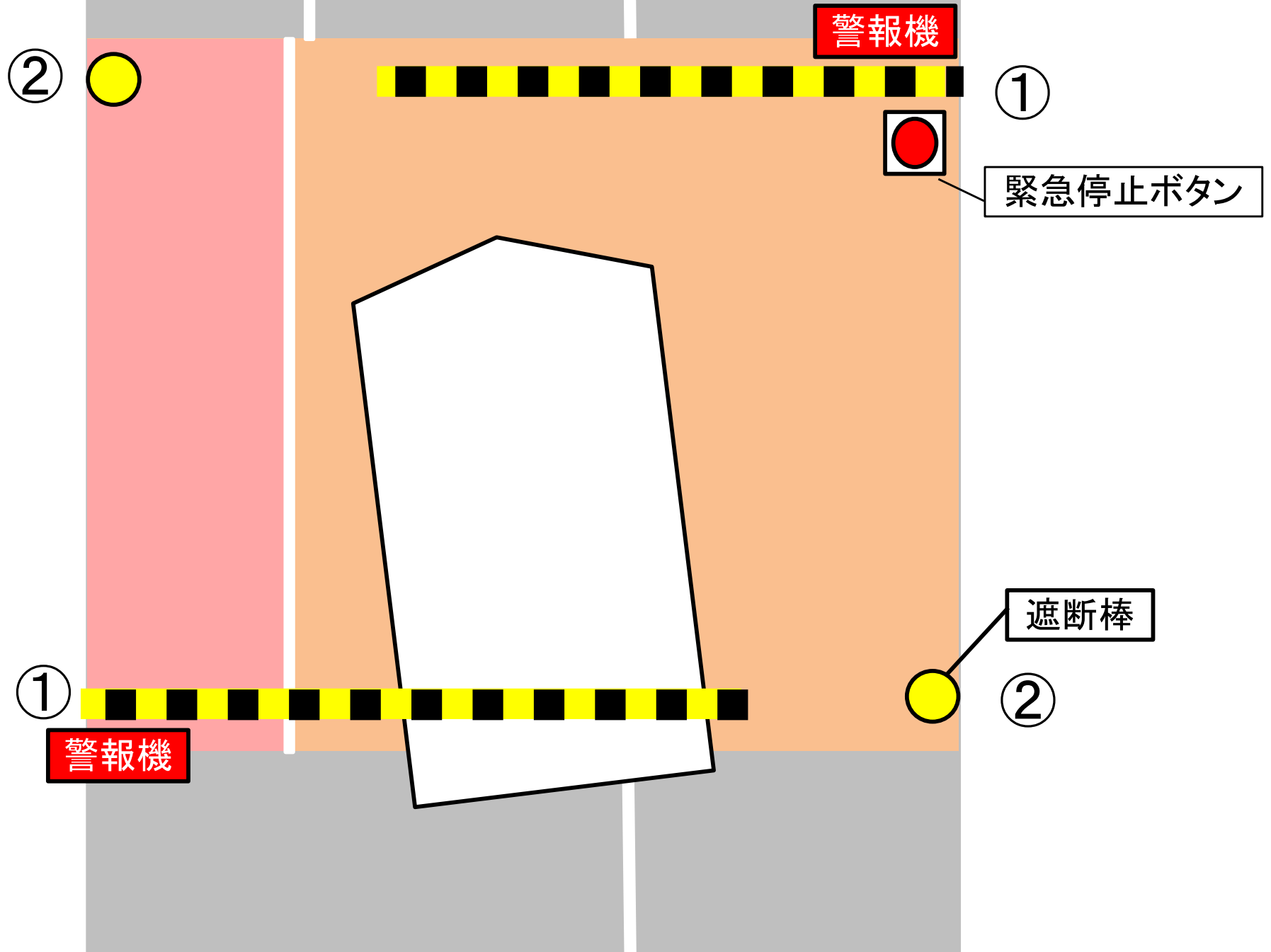
②

バス

【16：00】

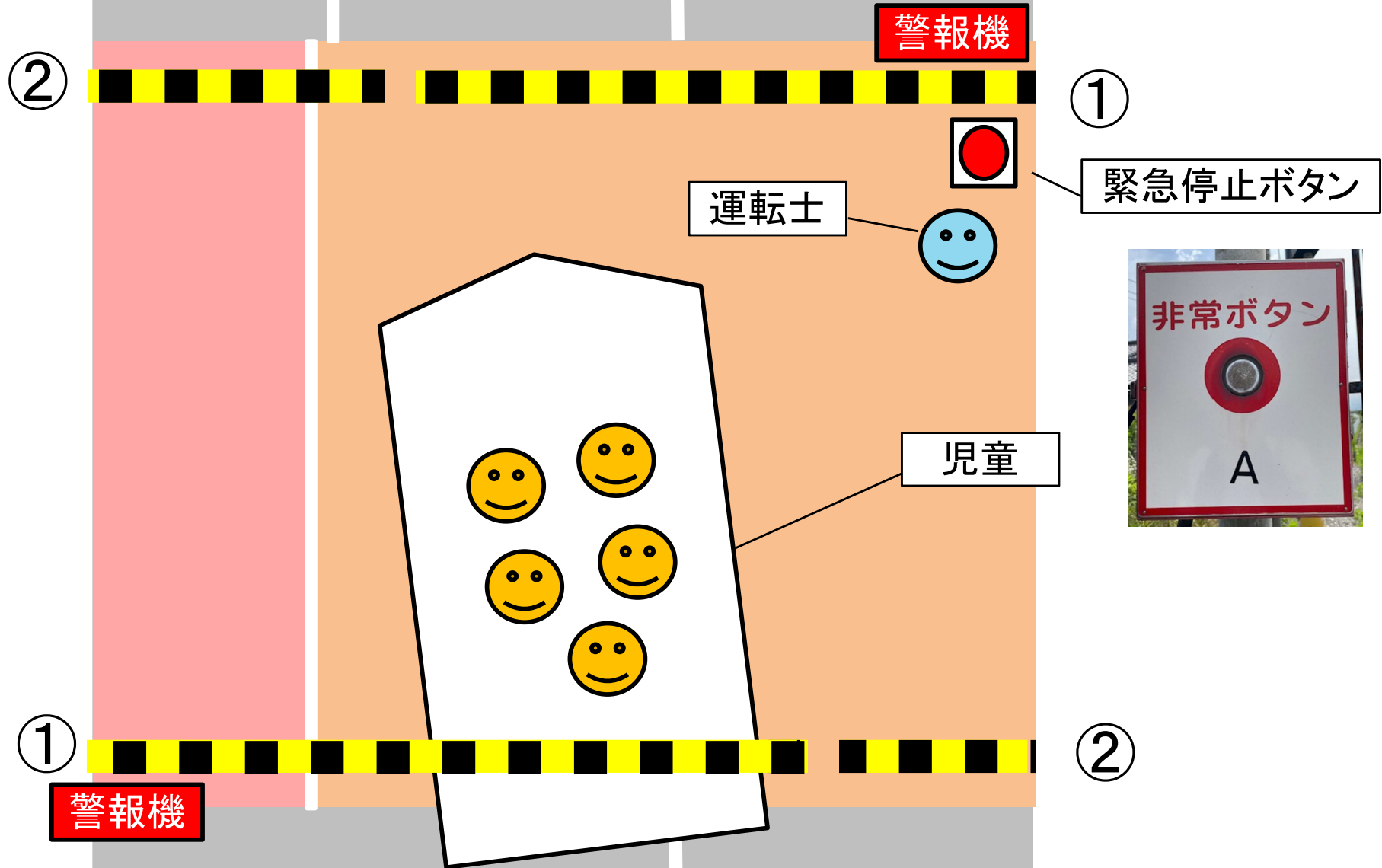
踏切内に進入したところ、①の遮断棒が降り、反射的に停車した。

2

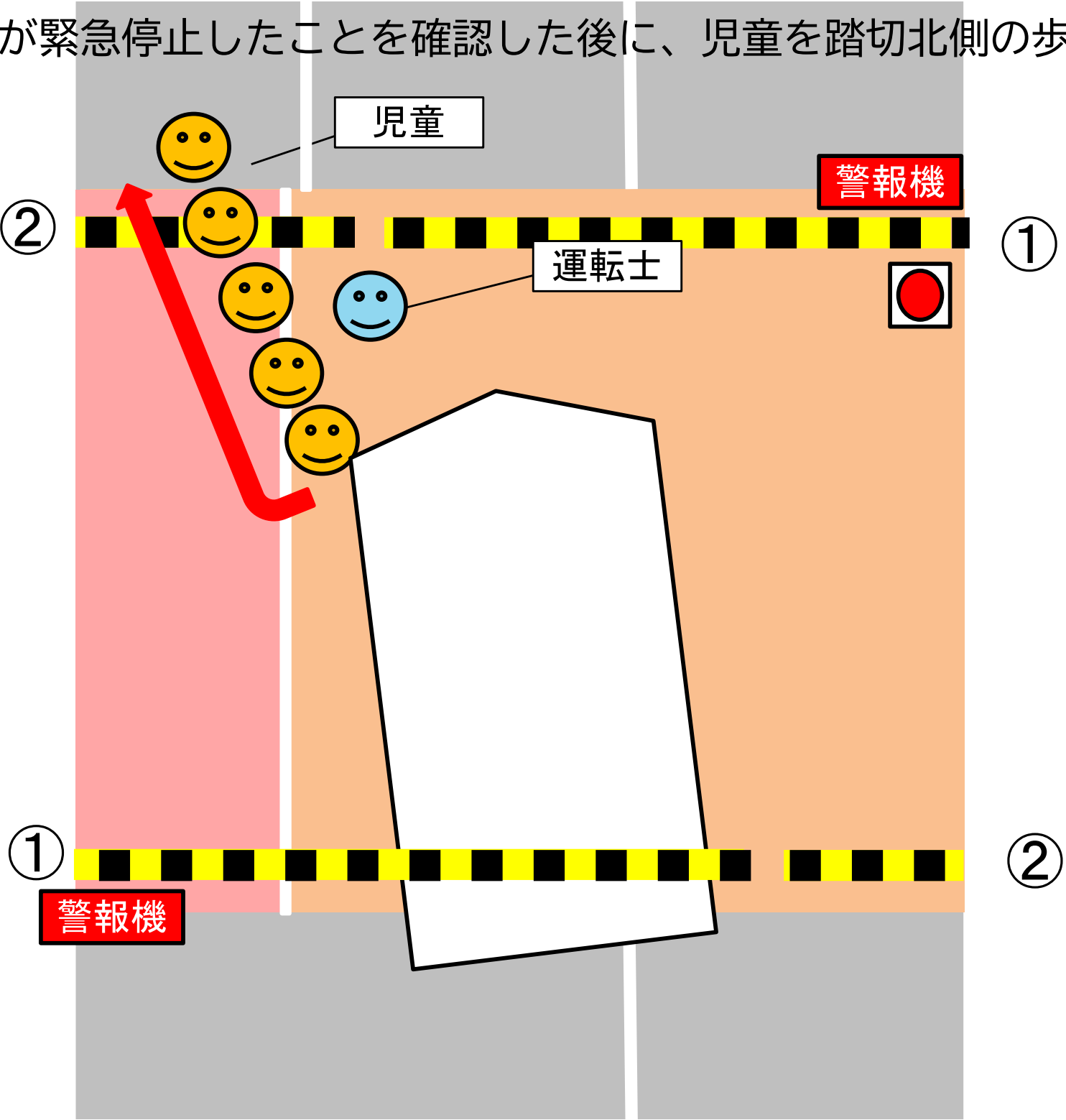


運転士は直ちに緊急停止ボタンを押下した。

3



運転士は列車が緊急停止したことを確認した後に、児童を踏切北側の歩道へ避難させた。



【16時01分】

運転士は、当該バスに児童が取り残されていないことを確認した。
踏切北側から来た回送中であつた運転士が、児童の避難誘導を支援した。

5



【16時11分】

現場に到着した統括運行管理者と運行管理補助者のうち、運行管理補助者が、踏切北側に当該バスを移動させた。

運行管理補助者

児童

回送バスを運転
していた運転士

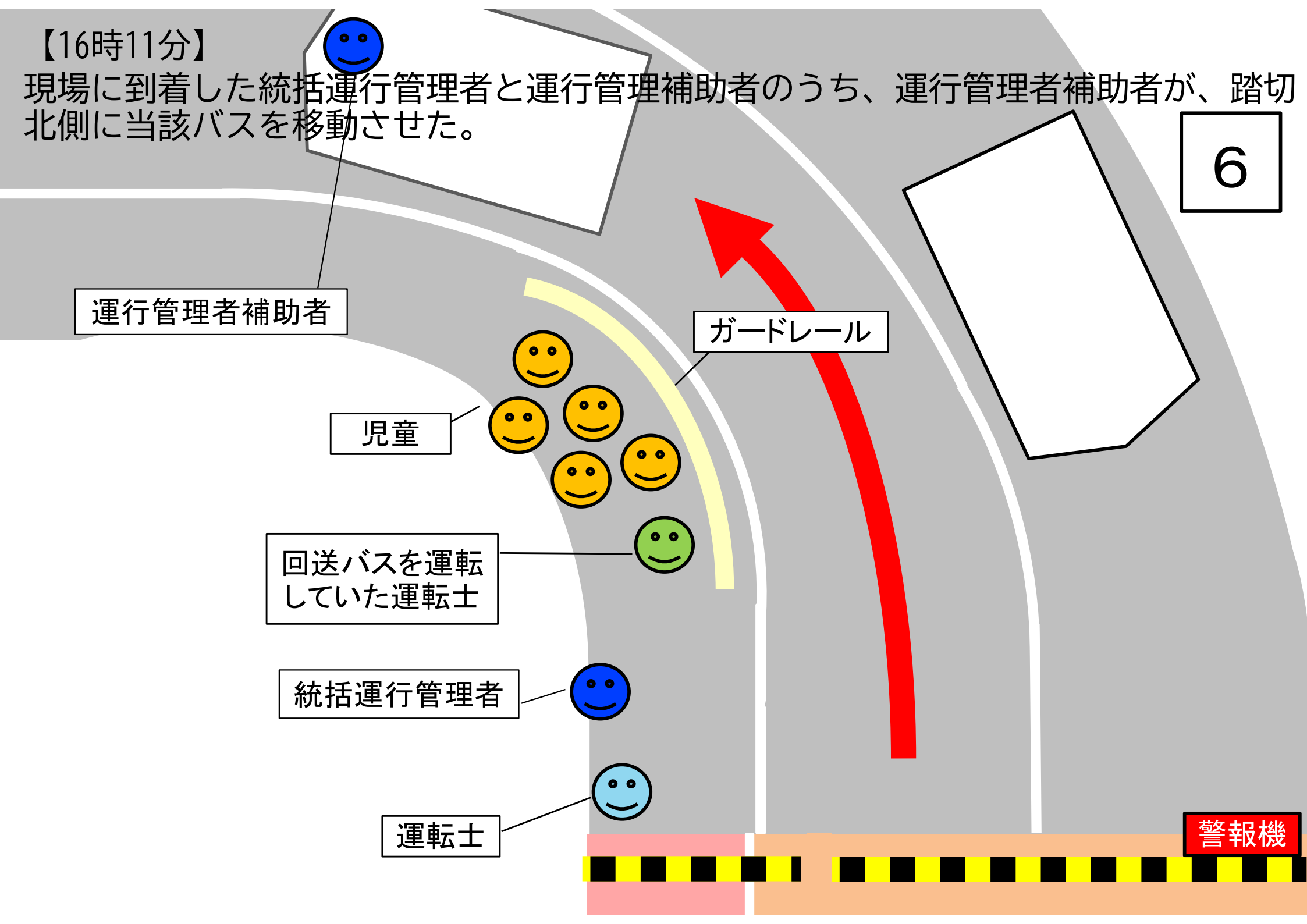
統括運行管理者

運転士

ガードレール

6

警報機



【16時12分】

運行管理者補助者が、児童をバスに再乗車させた。

7

運行管理者補助者

児童

ガードレール

回送バスを運転
していた運転士

統括運行管理者

運転士

警報機

再乗車場所



【16時14分】

運行管理補助者の運転で、水橋西部地区センターへ向けて出発した。

8



運行管理者補助者

児童

ガードレール

回送バスを運転
していた運転士

統括運行管理者

運転士

警報機